

海洋物理モデルと海況4Dビッグデータを活用した水産業支援“IoT海況予測サービス”の創出

リファレンスモデルの概要

愛媛大学が培った**海洋物理モデル**に基づき、本事業で構築する宇和海の海況情報（現況、予測）サービスを実施し、現場にリアルタイムに情報を発信することで、**養殖業者にとっては生産性の向上**（給餌ロスの削減、赤潮や魚病の対策）、**漁船漁業者にとっては魚群の動きの把握**、等に繋がれることとなり、宇和海地域の水産業の生産高増につながるものとなる。

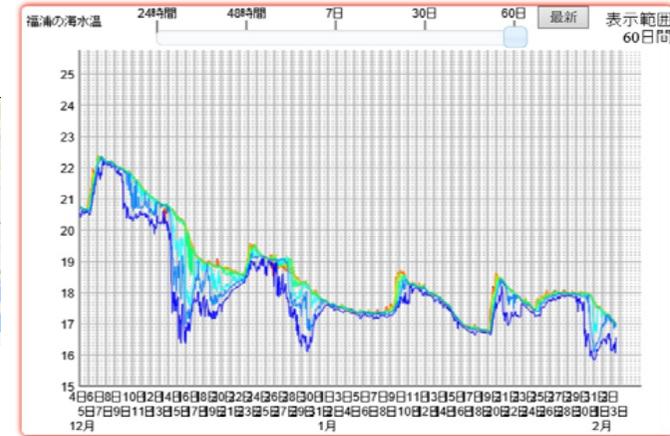


海況4Dビッグデータ (水温データ等)

(愛大 工)

(愛大 工)
可視化

現況情報



宇和海センサーネットワーク
(愛大 CMES、県水研、県漁連、ウミトン(株))

予測情報

普及・
事業化検討
(県水研、
愛大 社連、
ウミトン(株))

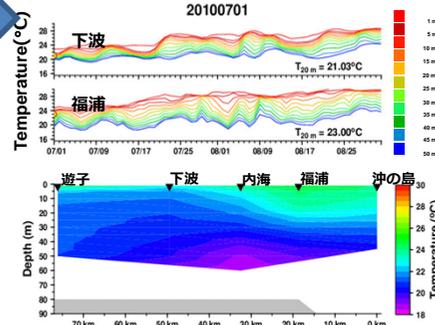
可視化 (愛大 工)

情報発信

(愛大 工、
県水研、
ウミトン(株))

高度化(予測)

(愛大 CMES、
愛大 工、県水研)

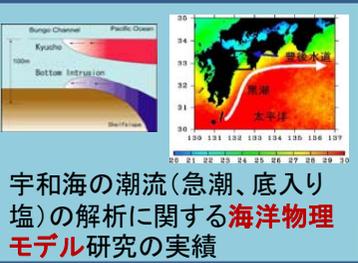


宇和海地域の漁協、 水産業者



640億円のえひめ水産業
への貢献

推定6.4億円 以上の経
済効果



宇和海の潮流(急潮、底入り塩)の解析に関する**海洋物理モデル**研究の実績

愛媛大学 CMES HPより
(<http://engan.cmes.ehime-u.ac.jp/engan/kandou/theme/kaneda/kaneda.htm>)